

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	河川公園維持管理事業				
担 当 課 係 名	都市整備 課		住宅公園 係	作成者	高橋貞二
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画の ページ
	基本計画	公園や緑地の整備			
	主要施策	河川公園の管理と利用促進			81
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	3 項 河川費	1 目 河川総務費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市河川公園条例				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民並びに来訪者
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適で楽しく利用できる環境づくりに努める。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	施設の維持管理業務を実施する。維持管理業務の草刈り作業は業者へ、植木の冬囲いはシルバー人材センターへ委託している。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	維持管理実日数	目標	日	235	235	235	
			実績	日	235	235	235	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	市民1人あたりの公園面積	目標	m ²	1.20	1.20	1.20	
			実績	m ²	1.20	1.21	1.22	
			達成度	%	100.0%	100.8%	101.7%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				3,697	3,021	3,872	
	人 件 費 (B)		—		314	484	396	
	職 員 数		—		0.04	0.06	0.05	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				4,011	3,505	4,268	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				4,011	3,505	4,268
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		17,068	14,915	18,162
市民1人当たりのコスト(円)		—		126	111	137		

【事務事業の今までの成果】

憩いの場として、心地よく利用できる環境を提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	緑化は、地球温暖化の視点から推進が求められている。 遊具については、安全点検の徹底。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	桧木内川河川公園の芝生広場は、グランドゴルフ愛好者から親しまれており、今後もこれまでと変わらない管理状態を維持。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	芝生管理、草刈作業は業者に委託しているが、公園のすべてを委託できず、単年度では一部しか芝生の管理ができない状況であり、C 2 判定とした。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

芝生の管理については、利用者から苦情等が出ないように努める。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	地域の憩いの場として施設の必要性は認められますが、維持管理経費の圧縮に努める必要があることから、より効率的な管理運営方法への移行を急ぐべきと考えます。

一次評価診断図

